

専門教育科目

○学 科 紹 介

○経 済 学 科

経済学科は、人々の経済活動の法則を明らかにし、それに基づく経済社会の構造や動態を分析することを課題としている。今日、社会の高度化や国際化の下で、経済社会は複雑化し大きな転換期に直面しているが、経済学科は、こうした複雑化し変化しつつある社会の動きや構造について、新しい視野から教育研究することを目指している。

経済学科には、経済学の課題や体系を理解するための基礎科目として経済学入門、初級ミクロ経済学、初級政治経済学がおかれている。これらの科目を基礎として基礎経済論、比較経済論、経済政策論の三つの講座グループがあり、その中に多彩な講義科目が開講されている。

基礎経済論の講義科目では、経済分析の基礎となる諸理論について、学説史を含めて検討するとともに、理論モデルに基づいて現実の経済社会を実証的に分析するための計量的手法について学習する。

比較経済論の講義科目では、日本経済の構造およびそれを取り巻く世界経済の構造や国際関係などについて、歴史的、構造的に分析し学習する。

経済政策論の講義科目では、経済社会運営のための諸政策について、理論的、実証的に分析し、経済・社会政策、産業政策から財政・金融政策に至る広域な政策論を多面的に学習する。

これらの講義科目を通して、経済学科は経済社会の変化や経済学の発展に対応しながら経済学の諸分野を広範にカバーし、学生の多様な問題意識や関心に応えていくことができると考えている。

『履修の手引』などをよく読んで、体系的に受講することが望ましい。

○経営システム学科

経営システム学科は、主として企業（会社）の経営活動やそれに関連する周囲の諸条件（環境）を研究教育する分野である。国や社会の経済を支える生産の最小単位が企業であるから、その経営組織、管理技術、財務分析、人事労務管理、情報処理、会計報告などの科目を学習することは、広く経済活動の理解のためにも有用である。経営システム学科の基礎的な学習として「経営学入門」と「会計学入門」があり、さらにそれらの上に、経営基礎論、経営行動論、会計情報論の三つの講座グループがある。

経営基礎論に属する授業では、企業経営や経営学の発展、会社組織や会社形態、経営戦略や経営心理の基礎、商業流通の原理を学習する。

経営行動論に属する授業では、より実践的に、経営戦略、人事管理、企業ファイナンス、交通、物流などを学習することができる。

会計情報論に属する授業では、会社経営に欠くことのできない会計データの作成技法である簿記から入門し、会計の理論と規則、外部への会計報告や監査、内部の管理に役立つ製品原価の計算や計画設定、経営分析などを学習する。

ガイダンスなどを参考にして、できるだけ体系的に受講することが望ましい。

○地域システム学科

地域システム学科は、地域社会の活性化という実践的な目標に基づいて、経済、法、行政、福祉など地域に住む人々の生活の様々な領域を学問的に教育研究する学科である。今日の地域社会が直面する様々な問題に学問的に対応し、また地域社会の国際化という観点から、外国語および外国文化の学習や研究がたいへん大切になってくる。これらの諸問題に対応するため地域システム学科には、地域情報文化論、地域経営論、地域行政論の三つの講座グループがある。

地域情報文化論においては、異文化間コミュニケーション論、英米アジアなど各地域言語文化論などを学習し、多文化共生社会の基盤を学ぶとともに、実用的な外国言語の運用能力の養成と向上を目指している。

地域経営論においては、地域の経済社会の構造、都市と農村の現代的問題とその対応策、地域の生活、福祉の実情を調査研究し、課題と対応策などを中心に学習する。

地域行政論においては、行政学、憲法、行政法などの様々な分野から、今日の地域社会における地方行政の諸問題を究明するとともに、民法、労働法など私法分野の学習から、地域社会における経済活動や市民生活に関する法的な諸問題を研究し学習する。

『履修の手引』などをよく読んで、実のある学習をしてもらいたい。

○社会イノベーション学科

社会イノベーション学科は、社会における新しい価値の創造（イノベーション）について幅広く学ぶ学科である。具体的には、新商品・新サービスの開発といった企業経営上の革新、NPO 創設による地域活性化等の社会課題への民間手法の活用、複数企業の連携、公的サービスと企業・市民の協働が求められる社会経済状況について教育研究することを目指している。そのため、イノベーションと経営分野、イノベーションと社会分野、イノベーションと経済分野の3つの分野がある。

イノベーションと経営分野は、社会における新しい価値の創造の核となる企業経営上の革新を主な対象として、イノベーション・マネジメント、製品・サービス開発、アントレプレナーシップなどに関する教育研究を行う。

イノベーションと社会分野は、企業経営上の革新の手法が適用された公共部門における社会的な価値の創造について、地場企業・NPO 等との協働・連携を視野に入れてソーシャルビジネスや社会調査に関する専門的な知識やスキルを習得し、地域社会の現場からの課題探求型学修を基礎とした教育研究を行う。

イノベーションと経済分野は、イノベーションの理解に関わる経済学からのアプローチとして、イノベティブな組織を構築するための制度や規制、地域や国全体の潜在能力を開花させるような政策を理論的に分析するため、ゲーム理論、制度の経済学等について教育研究を行う。

ガイダンスなどを参考にし、総合的・学際的な学修をしてほしい。

◎カリキュラムマップ

経済学部では、各学科の内容が基礎から応用に至るまで体系的に学習できるよう講義科目を設定し、カリキュラムマップとして図示している。基本的な構成は以下の通りである。

(1)

各学科のカリキュラムマップでは、左から右へ基礎レベル、中級レベル、応用レベルへの科目の流れを示している。この流れに沿って1年次から4年次まで段階的に履修できるよう科目が配置されている。

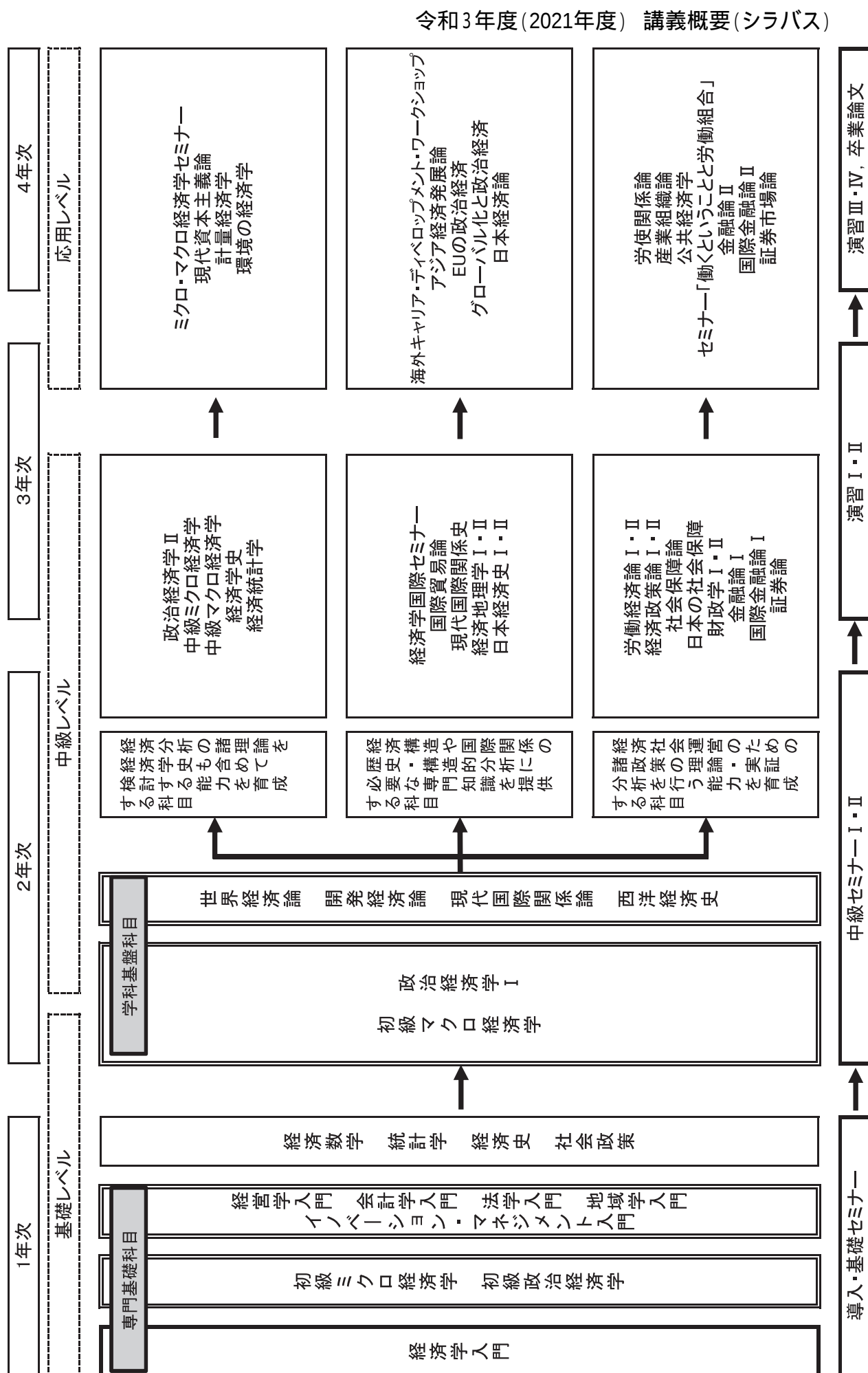
(2)

専門基礎科目はどの学科に進むうえでも履修することが望ましい基礎科目である。2年次の所属学科決定後は、学科基盤科目として総説、概論的な科目が配置されている。学科基盤科目は、基礎と応用レベルをつなぐ科目である。学科基盤科目に次いで学習すべき科目を主専門科目として、学問領域と学習レベルに区分して中級レベル、応用レベルとして示している。

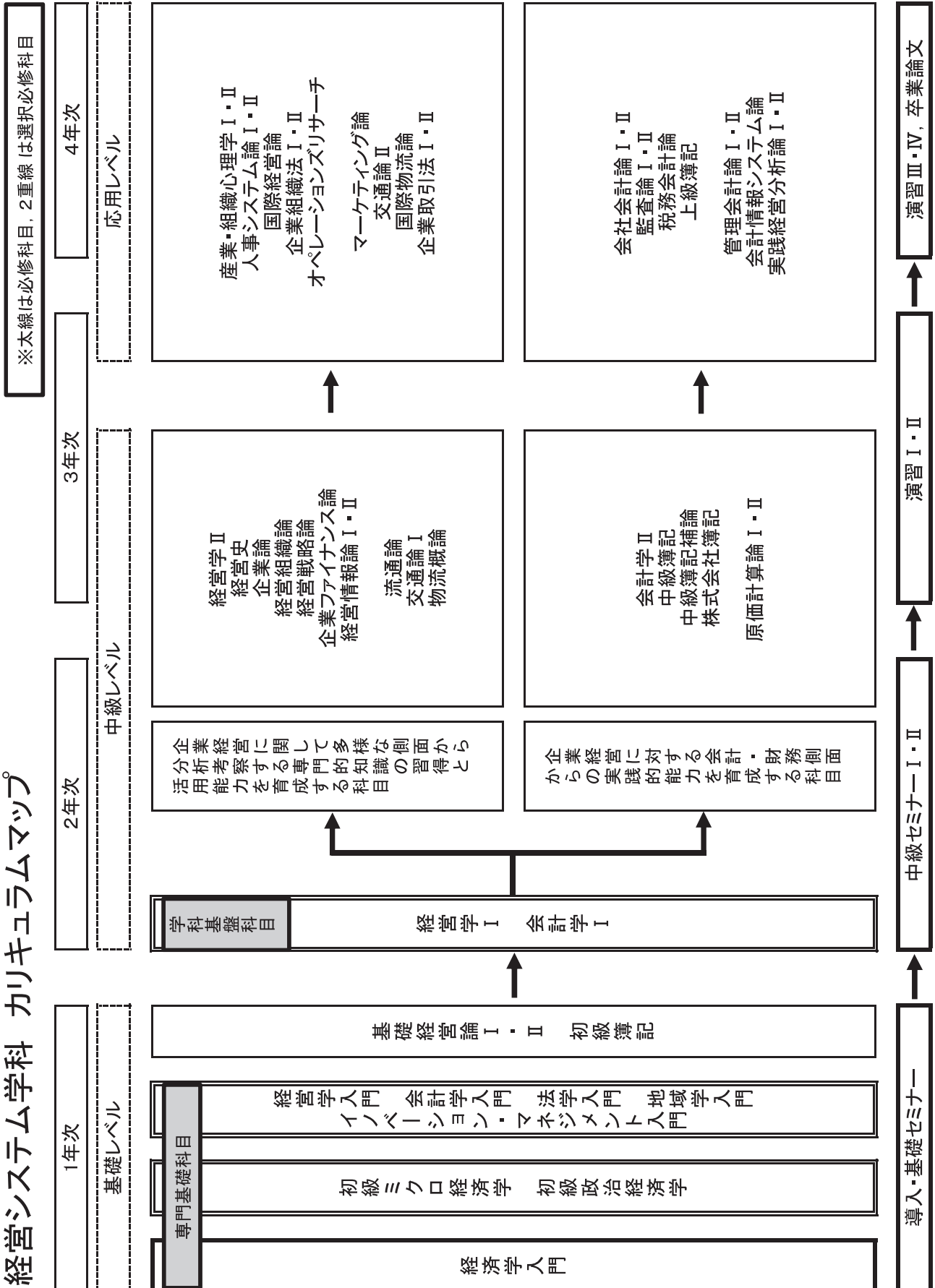
(3)

学科間にわたる科目の関連については図示されていないが、専門領域を超えて学科横断的に関連する科目や隣接科目については、実施学科課程表に記載されている副専門科目を中心に履修すること。

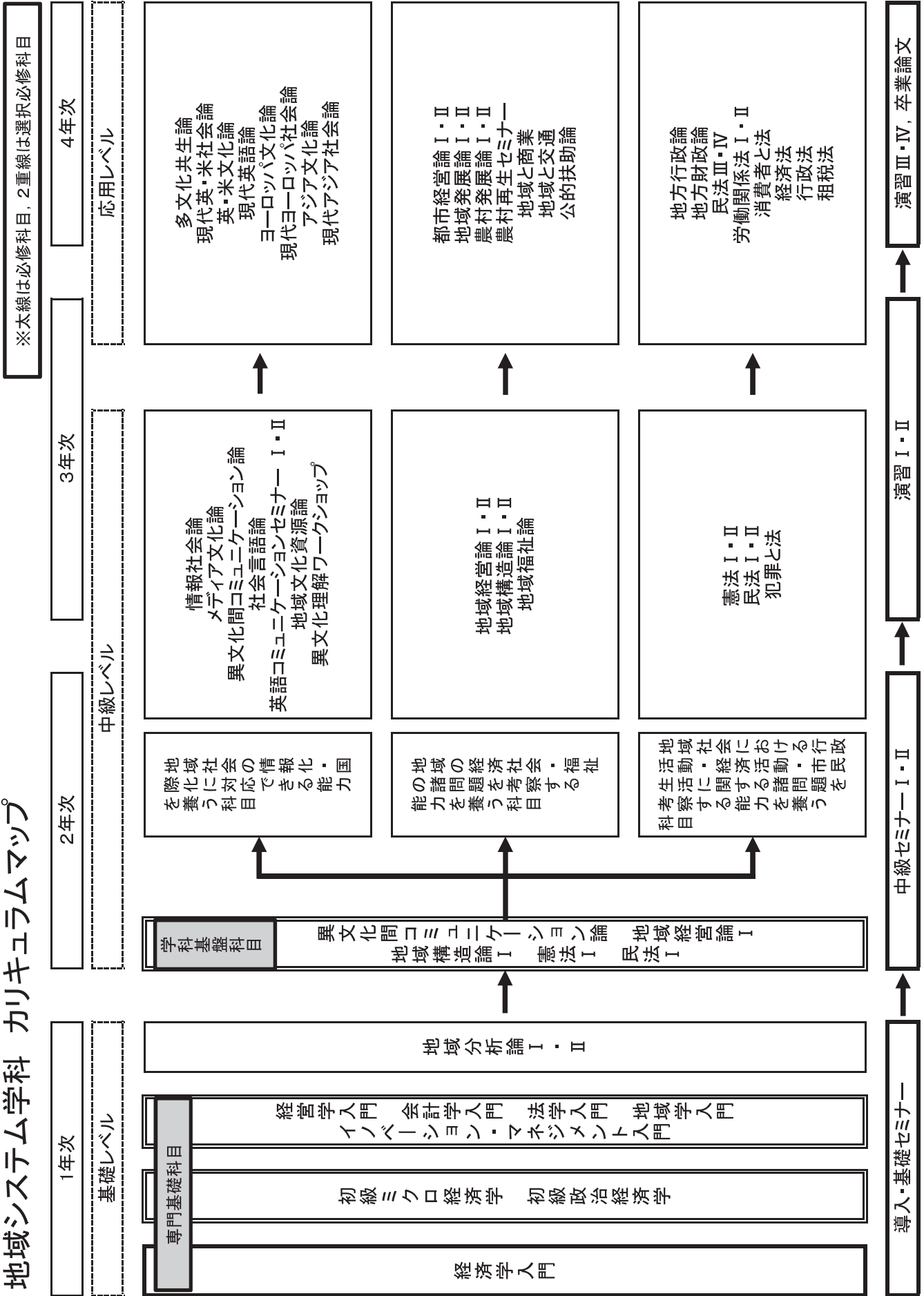
※太線は必修科目，2重線は選択必修科目



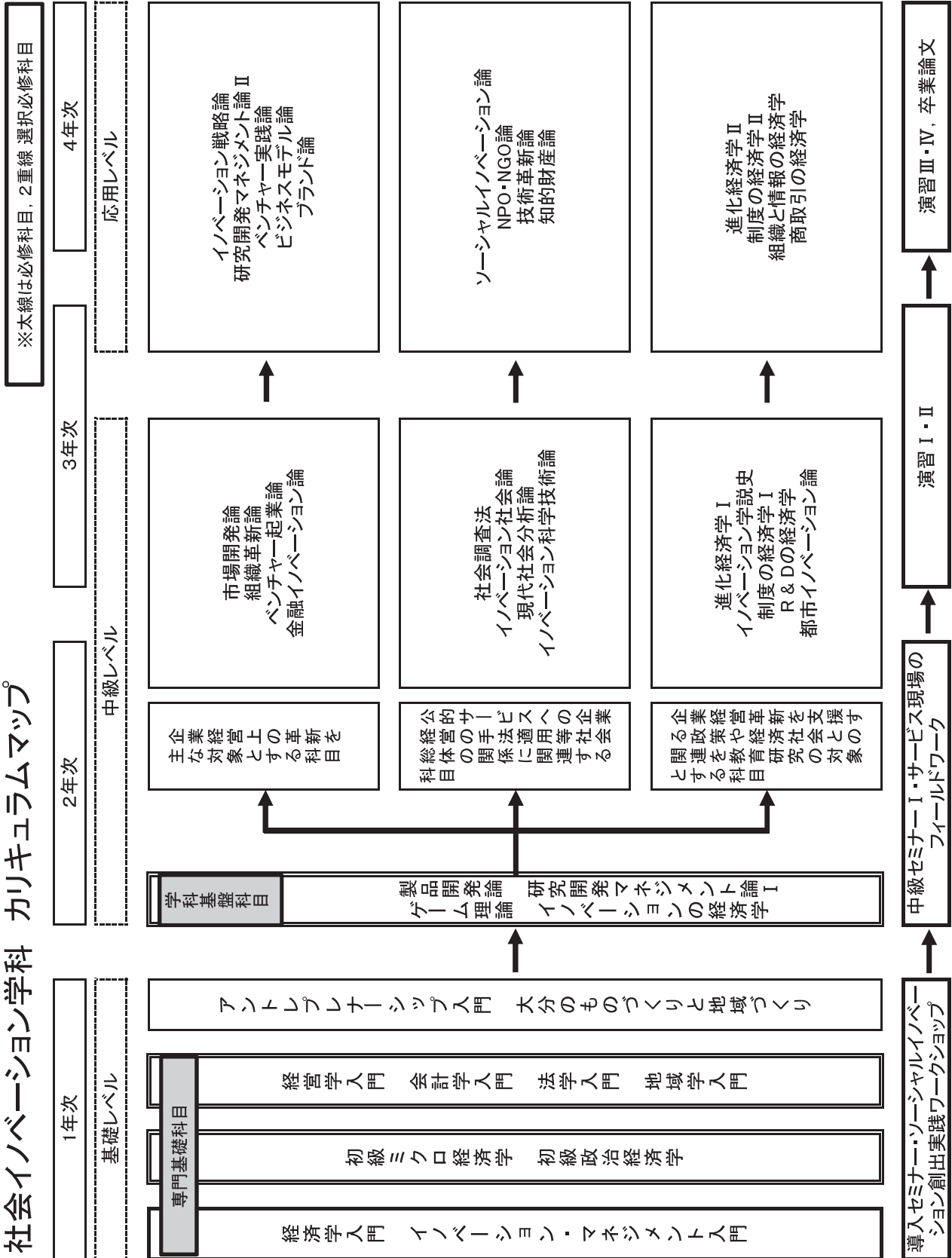
経営システム学科 カリキュラムマップ



地域システム学科 カリキュラムマップ



社会イノベーション学科 カリキュラムマップ



※太線は必修科目、2重線 選択必修科目

◎科目ナンバリング

科目ナンバリングとは、大学の授業で展開されている科目に番号付けを行い、受講科目がどのような水準の授業なのか、そしてどのような順番で科目を選択し受講していけば良いのかを判断する手助けとなるものです。

経済学部の特設教育科目ごとに付されている8ケタのナンバーが示す内容は以下の通りです。

(ここでは、経済学部の特設教育科目について説明します。教養科目については、教養教育科目ガイドブックを参照してください。)

- ① 1桁目：アルファベット
「K」は経済学部の特設教育科目であることを示しています。
- ② 2桁目：数字 (学部共通科目・各学科の開講科目を示す)
 - 0 共通
 - 1 経済学科
 - 2 経営システム学科
 - 3 地域システム学科
 - 4 社会イノベーション学科
- ③ 3桁目：数字 (必修科目・選択必修科目・選択科目を示す)
 - 1 学部必修科目
 - 2 学部選択必修科目
 - 3 学科・コース等選択必修科目
 - 4 選択科目
- ④ 4桁目：数字 (科目のレベルを示す)
 - 1 基礎
 - 2 中級
 - 3 応用
 - 4 卒業研究
- ⑤ 5桁目：アルファベット (学部共通科目・各学科の開講科目を示す)
 - A 共通
 - E 経済学科
 - M 経営システム学科
 - R 地域システム学科
 - S 社会イノベーション学科
- ⑥ 6桁目：数字 (必修科目・選択必修科目・選択科目を示す)
 - 1 学部必修科目
 - 2 学部選択必修科目
 - 3 学科・コース等選択必修科目
 - 4 選択科目
- ⑦ 7桁目および8桁目 (科目の通し番号を2桁で示す)

経済学部の特設教育科目は、8桁のうち下5桁で内容が分かるように設定されています。下5桁に注目すれば、以下のように説明できます。

(例1) 経済学入門 1A101 基礎レベル(1)の共通科目(A)で必修(1)の(01)番

(例2) 経営戦略論 2M408 中級レベル(2)の経営システム学科科目(M)で選択科目(4)の(08)番

令和3年度(2021年度) 講義概要(シラバス)

経済学部 科目ナンバリング

全学共通コード		基礎 1		中級 2		応用 3		卒業研究 4	
学部 K0	必修 1	経済 共通 A	経済学入門	1A101	中級セミナーⅠ	2A101			
					中級セミナーⅡ	2A102			
	学部選択 必修 2		初級ミクロ経済学	1A201	外国書講読	2A201	国際ボランティア・ワークショップ	3A201	
			初級政治経済学	1A202	海外フィールドワーク	2A202	IBP プレゼンテーションセミナー	3A202	
経済 学科 K1		経済学 科 E	経営学入門	1A203	国際学生フォーラム	2A203	インターンシップ	3A203	
			会計学入門	1A204	四極会寄附講義 会社研究	2A204			
			法学入門	1A205	大分銀行寄附講義 地域と経済	2A205			
			地域学入門	1A206	野村證券寄附講義				
学部 K0	選択 4	経済学 科 E	イノベーション・マネジメント入門 (社会イノベーション学科は必修)	1A207	資本市場の役割と証券投資	2A206			
			ビジネス英語 A	1A208	連合大分寄附講義				
			ビジネス英語 B	1A209	働くということと労働組合	2A207			
			フィールドワーク入門	1A210	日本税理士会連合会寄附講義				
経済 学科 K1		経済学 科 E	農山漁村再生論	1A211	租税の基礎と税理士の役割	2A208			
			大分県弁護士会連携講義	1A212	損害保険ジャパン日本興亜(株)				
			法律の基礎と実務		大分支部寄附講義 保険論	2A209			
学部 K0	必修 1	経済学 科 E					アドバンストセミナー	3A401	
							演習Ⅰ	3E101	卒業論文
							演習Ⅱ	3E102	4E101
							演習Ⅲ	3E103	
経済 学科 K1	学科選択 必修 3	経済学 科 E	初級マクロ経済学	1E301	政治経済学Ⅰ	2E301	演習Ⅳ	3E104	
					世界経済論	2E302			
					開発経済論	2E303			
					現代国際関係論	2E304			
経済 学科 K1		経済学 科 E	経済数学	1E401	西洋経済史	2E305			
			統計学	1E402	政治経済学Ⅱ	2E401	ミクロ・マクロ経済学セミナー	3E401	
			経済史	1E403	中級ミクロ経済学	2E402	現代資本主義論	3E402	
			社会政策	1E404	中級マクロ経済学	2E403	計量経済学	3E403	
学部 K0	学部選択 4	経済学 科 E			経済学史	2E404	海外キャリア・ディベロップメント・ワークショップ	3E404	
					経済統計学	2E405	アジア経済発展論	3E405	
					経済学国際セミナー	2E406	EU の政治経済	3E406	
					国際貿易論	2E407	グローバル化と政治経済	3E407	
経済 学科 K1		経済学 科 E			現代国際関係史	2E408	労使関係論	3E408	
					経済地理学Ⅰ	2E409	日本経済論	3E409	
					経済地理学Ⅱ	2E410	環境の経済学	3E410	
					労働経済論Ⅰ	2E411	産業組織論	3E411	
学部 K0		経済学 科 E			労働経済論Ⅱ	2E412	公共経済学	3E412	
					日本経済史Ⅰ	2E413	セミナー「働くということと労働組合」	3E413	
					日本経済史Ⅱ	2E414	金融論Ⅱ	3E414	
					経済政策論Ⅰ	2E415	国際金融論Ⅱ	3E415	
経済 学科 K1		経済学 科 E			経済政策論Ⅱ	2E416	証券市場論	3E416	
					社会保障論	2E417			
					日本の社会保障	2E418			
					財政学Ⅰ	2E419			
学部 K0	必修 1	経済学 科 E			財政学Ⅱ	2E420	演習Ⅰ	3M101	卒業論文
					金融論Ⅰ	2E421	演習Ⅱ	3M102	4M101
					国際金融論Ⅰ	2E422	演習Ⅲ	3M103	
					証券論	2E423	演習Ⅳ	3M104	
経済 学科 K1	学科選択 必修 3	経済学 科 E							
学部 K0		経済学 科 E			経営学Ⅰ	2M301			
					会計学Ⅰ	2M302			
経済 学科 K1		経済学 科 E			経営学Ⅱ	2M401	企業組織法Ⅰ	3M401	
					経営史	2M402	企業組織法Ⅱ	3M402	
					企業論	2M403	マーケティング論	3M403	
					経営情報論Ⅰ	2M404	国際経営論	3M404	
学部 K0		経済学 科 E			経営情報論Ⅱ	2M405	オペレーションズリサーチ	3M405	
					経営組織論	2M406	産業・組織心理学Ⅰ	3M406	
					流通論	2M407	産業・組織心理学Ⅱ	3M407	
					経営戦略論	2M408	人事システム論Ⅰ	3M408	
経済 学科 K1		経済学 科 E			企業ファイナンス論	2M409	人事システム論Ⅱ	3M409	
					交通論Ⅰ	2M410	交通論Ⅱ	3M410	
					物流概論	2M411	国際物流論	3M411	
					会計学Ⅱ	2M412	企業取引法Ⅰ	3M412	
学部 K0		経済学 科 E			原価計算論Ⅰ	2M413	企業取引法Ⅱ	3M413	
					原価計算論Ⅱ	2M414	会社会計論Ⅰ	3M414	
					中級簿記	2M415	会社会計論Ⅱ	3M415	
					中級簿記補論	2M416	監査論Ⅰ	3M416	
経済 学科 K1		経済学 科 E			株式会社簿記	2M417	監査論Ⅱ	3M417	
							管理会計論Ⅰ	3M418	
							管理会計論Ⅱ	3M419	
							会計情報システム論	3M420	
学部 K0		経済学 科 E					税務会計論	3M421	
							実践経営分析論Ⅰ	3M422	
							実践経営分析論Ⅱ	3M423	
							上級簿記	3M424	

経済学部 科目ナンバリング

全学共通コード		基礎 1		中級 2		応用 3		卒業研究 4	
地域システム学科 K3	必修 1					演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 演習Ⅳ	3R101 3R102 3R103 3R104	卒業論文	4R101
	学科選択必修 3			異文化間コミュニケーション論 地域経営論Ⅰ 地域構造論Ⅰ 憲法Ⅰ 民法Ⅰ	2R301 2R302 2R303 2R304 2R305				
	学科選択 4	地域分析論Ⅰ 地域分析論Ⅱ	1R401 1R402	情報社会論 メディア文化論 社会言語論 英語コミュニケーションセミナーⅠ 英語コミュニケーションセミナーⅡ 地域文化資源論 異文化理解ワークショップ 地域経営論Ⅱ 地域構造論Ⅱ 地域福祉論 憲法Ⅱ 民法Ⅱ 犯罪と法	2R401 2R402 2R403 2R404 2R405 2R406 2R407 2R408 2R409 2R410 2R411 2R412 2R413	多文化共生論 現代英・米社会論 英・米文化論 現代英語論 ヨーロッパ文化論 現代ヨーロッパ社会論 アジア文化論 現代アジア社会論 都市経営論Ⅰ 都市経営論Ⅱ 地域発展論Ⅰ 地域発展論Ⅱ 農村発展論Ⅰ 農村発展論Ⅱ 農村再生セミナー 地域と商業 地域と交通 公的扶助論 地方行政論 地方財政論 民法Ⅲ 民法Ⅳ 労働関係法Ⅰ 労働関係法Ⅱ 消費者と法 経済法 行政法 租税法	3R401 3R402 3R403 3R404 3R405 3R406 3R407 3R408 3R409 3R410 3R411 3R412 3R413 3R414 3R415 3R416 3R417 3R418 3R419 3R420 3R421 3R422 3R423 3R424 3R425 3R426 3R427 3R428		
社会イノベーション学科 K4	必修 1	イノベーション・マネジメント入門	1S101	サービス現場のフィールドワーク	2S101	演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 演習Ⅳ	3S101 3S102 3S103 3S104	卒業論文	4S101
	学科選択必修 3			製品開発論 研究開発マネジメント論Ⅰ ゲーム理論 イノベーションの経済学	2S301 2S302 2S303 2S304				
	学科選択 4	アントレプレナーシップ入門 大分のものづくりと地域づくり	1S401 1S402	市場開発論 組織革新論 ベンチャー起業論 金融イノベーション論 社会調査法 イノベーション社会論 現代社会分析論 イノベーション科学技術論 イノベーション学説史 進化経済学Ⅰ 制度の経済学Ⅰ R&Dの経済学 都市イノベーション論	2S401 2S402 2S403 2S404 2S405 2S406 2S407 2S408 2S409 2S410 2S411 2S412 2S413	イノベーション戦略論 研究開発マネジメント論Ⅱ ベンチャー実践論 ビジネスモデル論 ブランド論 ソーシャルイノベーション論 NPO・NGO論 技術革新論 知的財産論 進化経済学Ⅱ 制度の経済学Ⅱ 組織と情報の経済学 商取引の経済学	3S401 3S402 3S403 3S404 3S405 3S406 3S407 3S408 3S409 3S410 3S411 3S412 3S413		